

高校生一日消防学校入校体験の概要

- 1 目的 高校生を対象に消防・救助・救急活動の体験訓練や災害発生時の緊急援助活動等が体験できる「一日消防学校」(宿泊体験入校)を実施し、将来の地域の安全安心に貢献できる人材の育成を目指すもの。
- 2 日時 平成26年10月25日(土)10:00から10月26日(日)11:30まで
- 3 場所 富山県広域消防防災センター・富山県消防学校
- 4 参加者 富山県内の高校生 21名(内 女子2名)
- 5 内容及び感想

○四季防災館の体験はいかがでしたか？

・実際に起きた地震の体験ができて良かったです。災害の少ない富山県だからこそ、心の準備が必要に感じました。
・津波や土砂による被害の大きさ、規模の映像やそれを発生させる器具等を体験見学したい



○訓練札式

・学校ではやらない札式や礼儀を体験できて良かった
・ここに来なかったら一生することのなかったような規律ある整列方法を教えていただき、とても気が引き締まった



○応急処置

・竹2本と毛布1枚だけで、かなり強度の高い担架を作ること学べた 三角巾は多用途で、棒やダンボールなどと一緒に使って、骨折時の応急処置をすることもできることがわかった



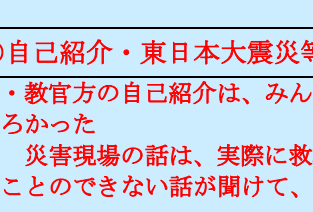
○避難迷路室体験

・迷路室は、想像していたより視界が悪く、火災現場の過酷さを感じた
・見学と分かっているにもかかわらず、パニックになってしまったので、実際の火事では凄い事になってしまうと思った



○エアータント取扱い

・分隊というグループに入って、仲間と共に協力し合うことで、一人で出来ないことも出来ると感じた 連携や声を出すということがとても重要だと感じた



○避難所作成、寝袋での睡眠

・避難所は、ダンボールとガムテープだけで作ったが、身近なものを最大限利用するのは大切だと感じた
・消防士は、災害のときにいろんなところで寝ると思うので、いい経験になった

○自己紹介・東日本大震災等の災害現場の話

・教官方の自己紹介は、みんなユーモアあふれていておもしろかった
災害現場の話は、実際に救助に行った教官にしか体感することのできない話が聞けて、一層災害の大変さを感じた

○消火体験・救助体験

・思った以上に水圧が強く、後に押された また、階段を上るのが大変だった
・ロープ渡りは、最後まで力が必要でとてもきつかったけど、人を助けたいという気持ちで乗り切った



○全体を通しての意見や感想

・普段こんなに礼儀やあいさつに気をつけてはじめよく生活することがあまりなかったので、この体験で人間としてあたりまえにするようなとても大切なことを教えてもらい、良かったです。僕は消防士も将来考えている進路の一つなので、消防士について知ることができて良い体験でした。もし、自分に災害などが降りかかっても、ここで学んだことを活かして落ち着いて行動したいと思います
・消防士の仕事の大変さを改めて知ることができたと同時に、そのようなやりがいのあることを仕事としていきたいと思いました。教官の「後片付け、声掛け、道具を大切に使う。」をこれからの生活に生かしたいと思います。